

松蔭 校長室だより

—校長から保護者の皆さまへのメッセージです—

2017年7月4日 発行

松蔭中学校・高等学校
校長 浅井直光

言葉のうちに命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。

(ヨハネによる福音書 1:4~5)

言葉の持つ力と怖さを自覚して

「メールやLINEは終点がない」とある生徒が話してくれたことがあります。日常会話の延長上のやり取りは互いにうまく終わらせにくい、ということだと思います。自分をとりまく人間関係に非常に敏感な思春期の女子ならではでしょうか。全国の中高生を対象としたアンケートによると、自分と人が友達であることとは、「何でも話せる人」が35%、「LINEやメールのやり取りをする人」が32%というデータを見つけました。LINEやメールをコミュニケーションの一つの手段として利用することは、決して悪いことではありませんが、文字だけのコミュニケーションは大人どうしでも難しいものです。特に否定的な感情を文字に表したり、誰かを非難したり攻撃したりする言葉を書き込んだりすると、その文字は一人歩きしてマイナス面を増幅させるのではないのでしょうか。「嫌い」「うっとおしい」「腹が立つ」などの文字を目にすると、その言葉の否定的な意味合いを強く受け止めてしまい、たとえ他者への言葉であっても嫌な気分は残ります。まして自分に対して向けられたものだとしたら、読み返すたびに湧き上がる悲しみや腹立ちを抑えることはできません。

米国の心理学者によれば、コミュニケーションの中身はVerbal(言語情報)7%、Vocal(聴覚情報)38%、Visual(視覚情報)55%で、話し手の言葉そのものが持つ意味合いは非常に小さいとの報告があります。口調や話すスピード、表情、身振り手振りや視線など、非言語的な表現がすべて取り払われ、言語情報が文字のみで伝えられるのがメールやLINE、SNSです。「言葉は生き物」と言葉遣いの変化について言うことがあります。ネット上の文字は生き物のように一人歩きを始めます。書き手の思いから離れてしまい、良くも悪くも読む者の心に何かを残すことになり、「そんなつもりはなかった」「誤解だ」などの言い訳が通用しなくなることもしばしばです。

学校のハンドブックには、ソーシャルメディアやLINEの使用についての注意点や知っておくべき点を掲載しています。(31~33ページ)中学生は特に、「リビング充電、9時までライン」を合い言葉に、携帯・スマホを自分の部屋に持ち込まず、家族共用のリビングで充電すること、午後9時には使用を止めることとしています。ご家庭でもこの点をご確認いただくとともに、家族間の使用ルールを必ず決めていただきたくお願いいたします。

いじめなど生徒間のトラブルがある場合、LINEなどへのひどい書き込みが必ずついてまわります。いじめ防止対策推進法の施行から3年経ちましたが、最近のニュースでもいじめで命を絶った子どもが各地にいることが報じられています。「今ある」「いつでもどこでも起こり得る」「誰でも被害

者、加害者になり得る」。本校も例外ではないとの認識で対応しなければなりません。

先日の全校礼拝で読まれたのが冒頭の聖句です。キリスト教主義学校では、聖書の言葉、すなわちイエス・キリストを通じた神様からすべての人へのメッセージを学ぶ機会が多くあります。「言葉のうちに命がある」とは言葉が持つ重みを教えてくれています。聖書で「言葉」と訳されたギリシア語「ロゴス」はもともと理性や目的も意味するそうですが、人間を照らす光となる理性的な言葉、暗闇で輝く光となる導きの言葉を聖書から学び、人に伝えていきたいものです。

プロジェクト型学習「Blue Earth Project」 高1から活動開始

今年のテーマは「生物多様性の保全」

最近カタツムリを見なくなったという話を聞きました。梅雨時のあじさいの花にはきまってカタツムリがいたように思いますが、素人目に酸性雨など環境の影響もあるのかと考えてしまいます。

カタツムリがすぐに絶滅することは無いと思いますが、地球上の何百万種という多様な生物が特にこの数十年の間、自然環境の破壊や汚染、温暖化や外来生物による種の絶滅つまり生物多様性の喪失の危機に直面しており、しかもこれまでにない圧倒的なスピードで進んでいるそうです。地域ごとに微妙な生命のバランスが取られていた生態系はいったん破壊されると、人の手で元通りの形に戻すこと困難です。そこで「生物多様性の保全」が求められています。国連は2010年を「国際生物多様性年」とし、名古屋で生物多様性条約の締約国会議(COP10)を開催しました。世界各国が協力して自然環境を保護し、生物多様性を守る方策について協議し、行動の指針を定めたのです。COP10では、各国が積極的な行動を促す明確な世界目標を設定することを目指し、2050年までに「自然と共生する」世界を実現するというビジョン(中長期目標)と2020年までのミッション(短期目標)、各保護地域の設定などいわゆる「愛知目標」を策定しました。(下表は環境省資料)

環境問題をテーマとするBlue Earth Projectは本校で2006年にはじまりました。「女子高生が社会を変える」をスローガンに、生徒の協働力、思考力、判断力、表現力を養成し、社会にメッセージを発信するプロジェクト型学習です。これまでは、高3だけの取り組みでしたが、今年度より高校全体に広げ、高1、高2からも希望者を募ったところ、30名の生徒が名乗りを上げ、活動を開始しました。9月16日(土)には、神戸三宮センター街での啓発活動「神戸ストリートイベント」、神戸国際会議場(ポートアイランド)で開催される「生物多様性全国ミーティング」への参加を予定しています。特に後者は、環境省が主催する大きなイベントで、全国から多数の参加者が神戸に集います。これから2ヶ月余りの準備を経て、多くの方々にメッセージを発信ができるならば、非常に大きな意味を持つ取り組みとなることは間違いありません。3学期には進路が確定している高3の生徒が中心となって、本格的に啓発イベントを企画、実施します。どうぞご期待ください。



(裏面へ続く)

2016 年度学校評価アンケートから

「学校評価」について本校では「学校自己評価」「学校関係者評価」「学校評価アンケート」を実施しています。ホームページには現在、2015 年度「学校自己評価」および「学校評価アンケート」結果、2016 年度「学校関係者評価」を掲載しています。今年 1 月に実施した 2016 年度「学校評価アンケート」結果については、今年度の「学校関係者評価」とともに 3 学期に掲載する予定です。この紙面では、今年度の学校運営に反映させている点などをお知らせしたいと思います。

まず、学校全般については「松蔭に入学してよかったと思う」（生徒）、「子どもを松蔭に入学させてよかったと思う」（保護者）、「松蔭で良い友人ができた」（生徒）など設問で、「とてもそう思う」「ややそう思う」の肯定的回答が昨年同様 9 割以上となっていました。しかし 1 割弱の生徒・保護者の否定的評価があることは、改善すべき点がまだまだ多いことを示しています。自由記述では、多くのご意見やご要望を頂いています。出来ることは即やっつけていこうということで、例えば、年度初めにご提出いただいている家庭連絡簿などについて、個人情報が生徒の目に触れないようにしてほしい、との意見がありましたので今年度より提出用封筒を用意しました。また、授業用の副教材費などについて、学年費以外に授業で徴収するものについて、領収書の不備をご指摘いただきましたので、改善することにしました。また教員の一部に不適切な言葉遣いをする場合があることのご意見を頂きましたが、今年度初めに「挨拶」と「言葉遣い」について全校的な取り組みとしてすすめることを教職員で申し合わせました。頭髪を束ねることを徹底させてほしい、とのご意見についても、今年度より制服着用時には、肩より長い髪は束ねることを決めています。

学習・大学進学対策の点では、その強化を求める声や土曜日授業、放課後補習のご要望も多くなりました。補習や大学進学に関して、高校生対象の設問に下記がありました。

「自分に必要だと思う補習を受けることができている」

とてもそう思う 28%（前年度 17%） ややそう思う 45%（前年度 49%）

「学校の授業や補習のみで希望する進路に見合う学力が付いていると思う」

とてもそう思う 13%（前年度 9%） ややそう思う 37%（前年度 43%）

補習の実施などについては若干改善しているものの、やはり進路実現についての学校の体制が不十分であることを示しています。2018 年度以降の授業 6 日制や学習対策については現在検討中ですが、ICT 機器の利用や生徒の主体的な活動を取り入れた授業づくり、補習や校内予備校の拡充などを計画しています。なお、授業 6 日制についての保護者対象説明会は、中 3～高 2 は 7 月 14 日、中 1 および中 2 は 7 月 21 日に開催する予定です。

その他に、部活動の練習時間や日数のあり方、学校情報や生徒活動のホームページでの発信が少ないこと、SNS 発信をしている生徒への指導、高校選択科目の講座成立の人数の問題、個人面談の回数増のご要望などがありました。今後検討していきたいと考えています。

生活面では、生徒への設問に「いつも自分から挨拶するよう心がけている」という項目があり、中学生の回答は次のようになりました。

とてもそう思う 30% ややそう思う 38% あまり思わない 26% 思わない 6%

3 割の生徒が「とてもそう思う」と回答しており、この 3 年間で 22%（2014 年度）28%（2015 年

度）と少しずつ良くなっています。しかし「松蔭の生徒は挨拶があまり出来ていない」という内外の声があることは事実ですし、私自身もそのように感じています。保護者の皆様も同様ではないかと思えます。昨年末に退職されたある先生が「1 年間で生徒から挨拶してもらったのは 1 回」と仰っていました。そこで今年度は上述のように学校全体の取り組みとし、言葉遣いも含めて「人と向き合う姿勢」をしっかりと身に付けることを目標にしています。

私学助成（2016 年度補助金額）ならびに校納金の値上げのお願い

私立学校の経営は校納金で成り立っていますが、不足を補うのが県、市の補助金です。本校では、学校財政の約 3 分の 1 を占めています。前年度の補助金が下記のとおり確定しましたのでお知らせします。また校納金についてですが、学院といたしましては、保護者の皆様からの校納金については出来る限り低く抑えるべく学校経営をすすめてまいりましたが、次年度からの土曜日授業（授業 6 日制）実施、ICT 教育の授業導入など諸経費の増大に関し、今後、年々の経費増は避けられず、校納金のうち授業料につきまして、5%程度（月額 2,000 円）の値上げが必要となりました。2018 年 4 月より値上げしたく、正式なお知らせとお願いの文書を近日中に郵送いたします。保護者の皆様のご理解を、何卒お願い申し上げます。

兵庫県の経常費補助金など 323,012,773 円	国庫金 1,552,000 円
高等学校就学支援金 41,624,550 円	神戸市からの助成金 2,696,623 円

学校ポスターの掲示などにご協力ください

保護者の方々から、習い事の教室や知り合いの店舗などに他校のポスターなどが掲示されているのを見ることがあるが、松蔭のポスターも掲示できませんか？ とお話を数件いただいていた。駅や公共の場所での掲示は出来ませんが、許可をいただいた上で掲示にご協力をお願いいたします。入試担当者まで下表をご提出いただくか、直接お電話いただきますようお願いいたします。場所によっては相応しくない場合もあるかも知れません。ご相談くだされば有り難いです。

2017 年度学校ポスター掲示のために（ ）枚を希望します。

掲示場所（ ）など

中学・高校（ ）年（ ）組（ ）番 名前（ ）

保護者（ ） 印

* 提出先：松蔭中学校高等学校入試広報室 小林先生

入試担当：小林（数学科、中 1 学年団） 上記の用紙を切り取ってご提出ください。